

目黒区美術館

Exhibition for the 35th
Anniversary of MMAT

開館35周年記念展

美術館は
おもちゃ箱・
道具箱
Museum is a
Toy Box and
a Tool Box



Meguro Museum of Art, Tokyo
目黒区美術館



2022.07.09(SAT) - 08.28(SUN)



おもちゃ箱や道具箱にはその持ち主の個性が現れます。美術館を大切な収蔵品をいれる箱としてみると、収められたコレクションから、館の特色が見えてきます。目黒区美術館では美術作品のほかに、教材・資料にも早くから目を向け、積極的に収集を行ってきました。そして、これらを展示だけでなく、教育普及活動に活用することで、人と作品との距離を一步近づけ、人と美術をつなぐものへと広がっています。本展では、今では当館の活動になくてはならないツールとなっている「トイコレクション」、「画家の画材・道具」、「画材と素材の引き出し博物館」を中心に、当館のユニークな教材・資料コレクションを紹介します。



1 目で、手で、さわって楽しもう！ トイコレクション

目黒区美術館では、優れたデザインのトイ(玩具)を収集しています。鑑賞はもちろん、触って展開することで新たな発見や視点を与えてくれるトイは、手で考えるオブジェクトとして、当館ボランティアチームによる教育普及プログラムなどで活用しています。本展では、約150点のトイを展示し紹介するとともに、会期中の土日祝には「プレイコーナー」で、実際にトイを動かしてその魅力に触れていただけます。

◀バードツリー> 1965年 福田繁雄



◀リグノ> 1958年発表
Naef AG/スイス



◀ひもとおし ラクダ、ライオン、ポニー、羊>
1970年頃発表 Naef AG/スイス

展覧会のみつめてポイント!

みつめてくん

よ〜く見つめることが大好き。
本展をじっくり見つめるガイド役。
黒目がちな(目黒)三つ目(みつめ)
と、発見があると毛がぞわぞわし
ちゃうのがチャームポイント。



2 画家は どんな道具を使っていた?

当館の作品収集の方針の一つに、「日本人画家の欧米における学習・研究をあとづけることのできる作品収集」というテーマがあります。それに関連して、画家たちが制作に実際に使っていた画材や道具を多数収集しています。創作の余韻が残る画家愛用の絵筆やパレット、イーゼルなどからは、オブジェクトとしての存在感も感じられます。



伊原宇三郎旧蔵の画材

作品には、どんな画材や 素材が使われている?



美術作品の制作に欠かせない画材の成り立ちや素材の特徴を、テーマ別にわかりやすくまとめた当館オリジナルの美術教材「画材と素材の引き出し博物館」を展示します。作品を構成するものやその文化的背景を知れば、作品をこれまでとは違った角度から楽しめるようになるでしょう。引き出しに収められた絵具の原料や様々な素材の実物資料は、それ自体が独特の魅力を持っていることにも驚きます。



「画材の引き出し博物館」より 左上から時計回りに「筆の原料」、「練り剤による色味の違い」、「刷毛[西洋画]」、「クレヨン・オイルパステル」

■トイプレイコーナー 会期中の土・日・祝日 13:00~16:00



色や形が美しいだけでなく、積んで、組んで、並べて楽しい当館収集のトイ(玩具)に実際に触れて頂けます。当館のトイコレクションボランティアチームがサポートします。

* 申込不要(人数制限あり)、最終入場15:45
入場には当日有効の展覧会観覧券が必要です。

■講演会

手と目で考える—目黒区美術館のユニークな教材

7月10日(日)14:00~15:30 講師:降旗千賀子 (&4+do、元目黒区美術館学芸員)

画材の博物誌—アトリエの画材

7月23日(土)14:00~15:30 講師:森田恒之(国立民族学博物館名誉教授)

日本のキャンバス考

7月30日(土)14:00~15:30
講師:船岡廣正(元フナオカ・キャンバス製造元)+渡邊郁夫(修復研究所21所長)

*いずれも事前申込制。詳細は当館ホームページにて、ご確認ください。

目黒区美術館開館35周年記念展

美術館はおもちゃ箱・道具箱

Exhibition for the 35th Anniversary of MMAT

Museum is a Toy Box and a Tool Box

目黒区美術館 Meguro Museum of Art, Tokyo

2022年7月9日(土)~8月28日(日) 月曜休館

(ただし、7月18日(月・祝)は開館、7月19日(火)は休館)

午前10時~午後6時(入館は午後5時30分まで)

一般700(550)円、大高生・65歳以上550(400)円

中学生以下無料

*障がいのある方とその付添者1名は無料、()内は20名以上の団体料金

*目黒区在住、在勤、在学の方は受付で証明書類をご提示頂くと団体料金になります(他の割引と併用はできません)

主催:(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

協賛:(公財)北野生涯教育振興会

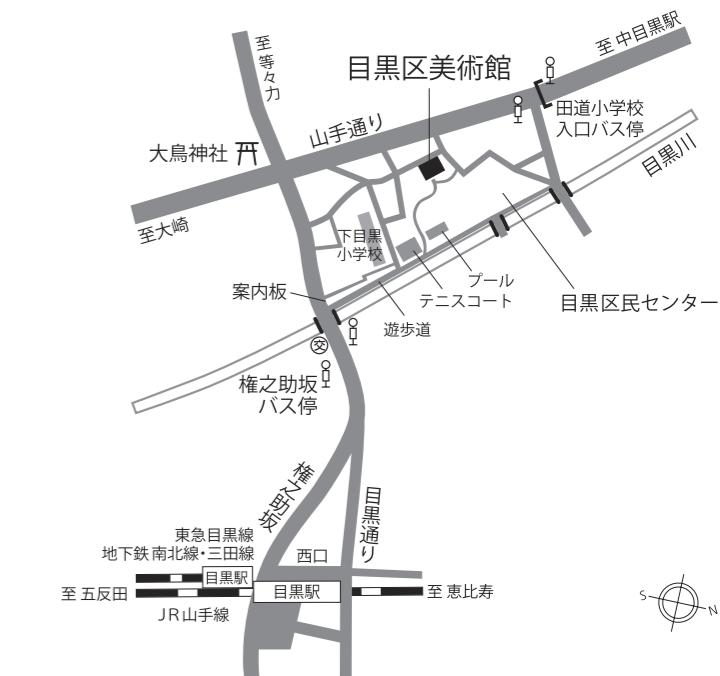
協力:(株)アトリエ ニキティキ

お問い合わせ:目黒区美術館 〒153-0063 東京都目黒区目黒2-4-36

Tel. 03-3714-1201 <https://www.mmat.jp>

<メルマガ会員募集中> <https://service.sugumail.com/mmat/>

新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては、展覧会の会期等が変更になる可能性があります。ご来館時の注意事項も含め、開館状況を当館ホームページ等でご確認のうえご来館ください。



● JR山手線・東急目黒線・東京メトロ南北線・都営三田線「目黒」駅(西口)から徒歩10分

● 東急東横線・東京メトロ日比谷線「中目黒」駅から徒歩20分

● 東急バス「権之助坂」(目黒通り)下車徒歩5分、「田道小学校入口」(山手通り)下車徒歩3分

* 目黒区民センター隣接

* 当館には来館者専用の駐車場はありませんので、電車・バスなどの交通機関をご利用ください。

* お車で越しの場合は隣接の目黒区民センターの駐車場(有料)をご利用ください。



Meguro Museum of Art, Tokyo
目黒区美術館

同時開催: ワークショップ2022夏「おもちゃ箱・道具箱」

展覧会とゆるやかに関連したワークショップを開催いたします。詳細は当館ホームページ等でご確認ください。